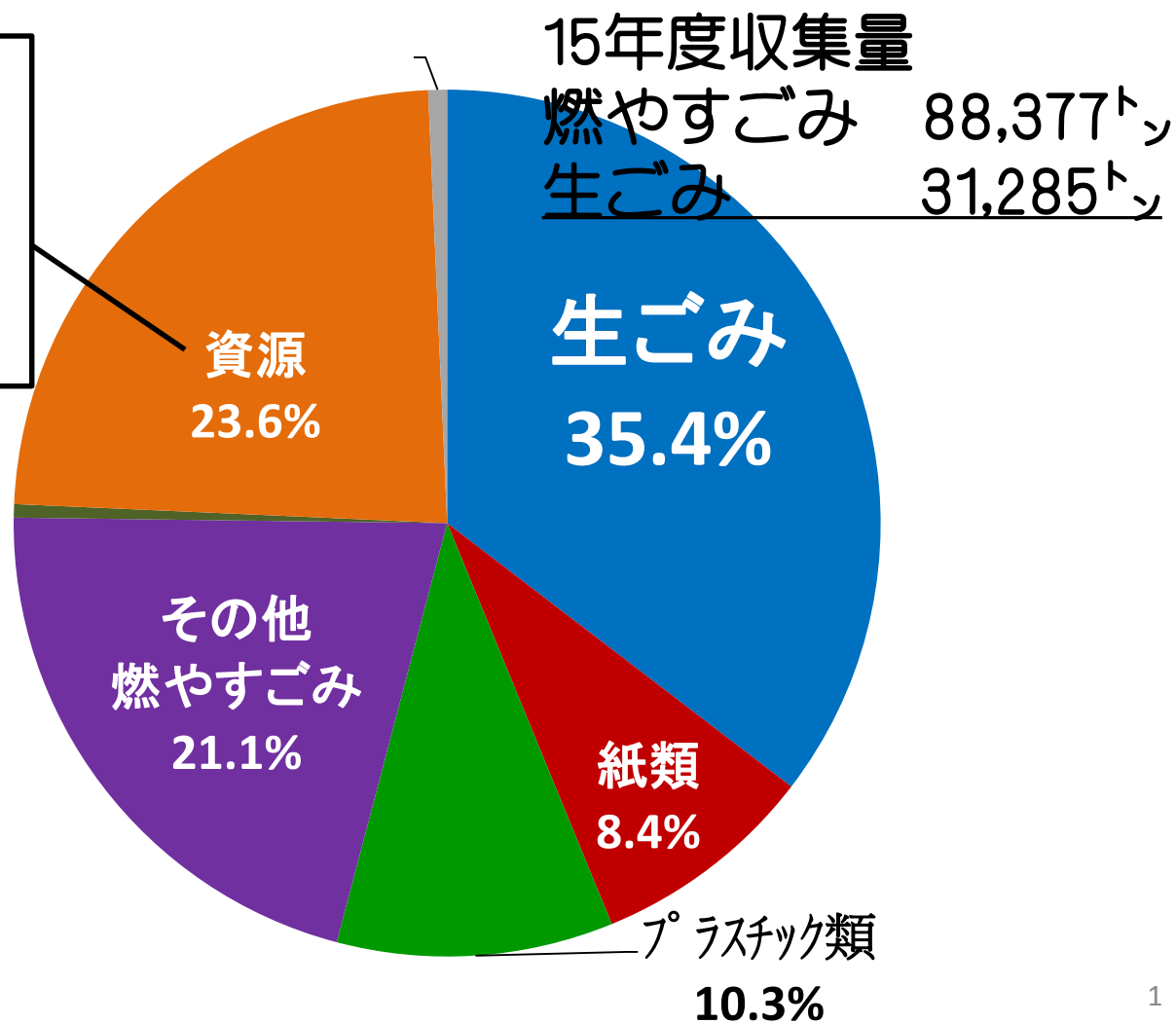


燃やすごみのなかの生ごみの割合

2015年度ごみの組成調査(家庭ごみ、6月実施)

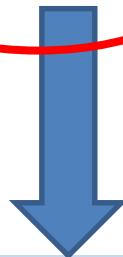
紙類	20.6%
ペットボトル	0.2%
容器包装プラスチック	2.1%
発泡スチロール	0.5%
びん	0.1%
缶	0.1%



生ごみクイズ

Q 1 生ごみ…野菜の水分量(割合)は？

⇒ ① 約90% ② 約75% ③ 約65%
魚 ごはん



きゅうり : 96.2%	白菜 : 95.9%	ピーマン : 93.5%
大根 : 92.4%	キャベツ : 92.4%	小松菜 : 91.9%
ニンジン : 90.4%	玉ねぎ : 90.4%	ブロッコリー : 84.9%
すいか : 90.1%	いちご : 90.1%	

[生ごみの水分は食材の水率(水分重量/水分・ミネラルを含む乾物合計重量%)で表します]

生ごみクイズ

Q2 生ごみ自家処理のCO₂排出量は、燃やしたときの

⇒ ① 約 1 / 20 ② 約 1 / 50 ③ 約 1 / 100

生ごみ1トンを

燃やすごみで燃やしたら ⇒ **2051.3kg**

約759.7リットルの重油を使い、約53,180円の税金を使います

自家処理したら(コンポスト容器で堆肥化) ⇒ **18.0kg**

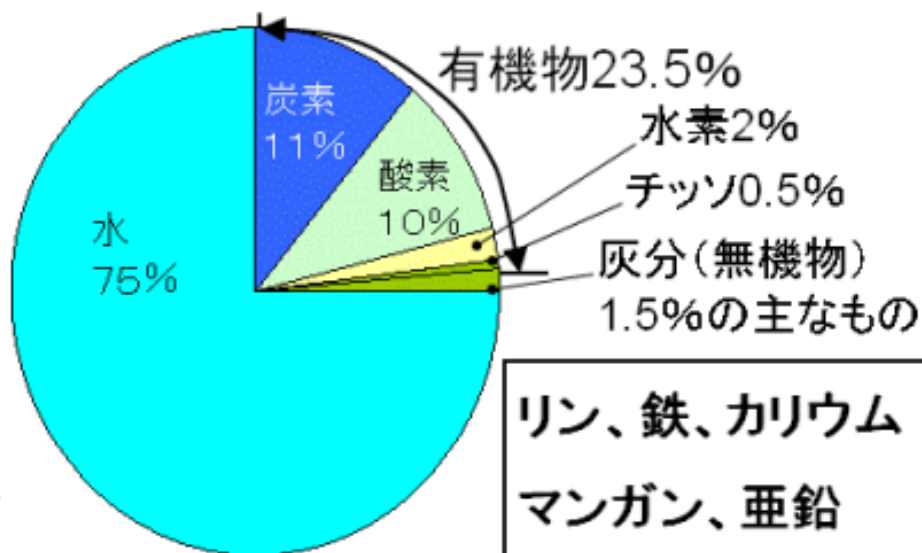
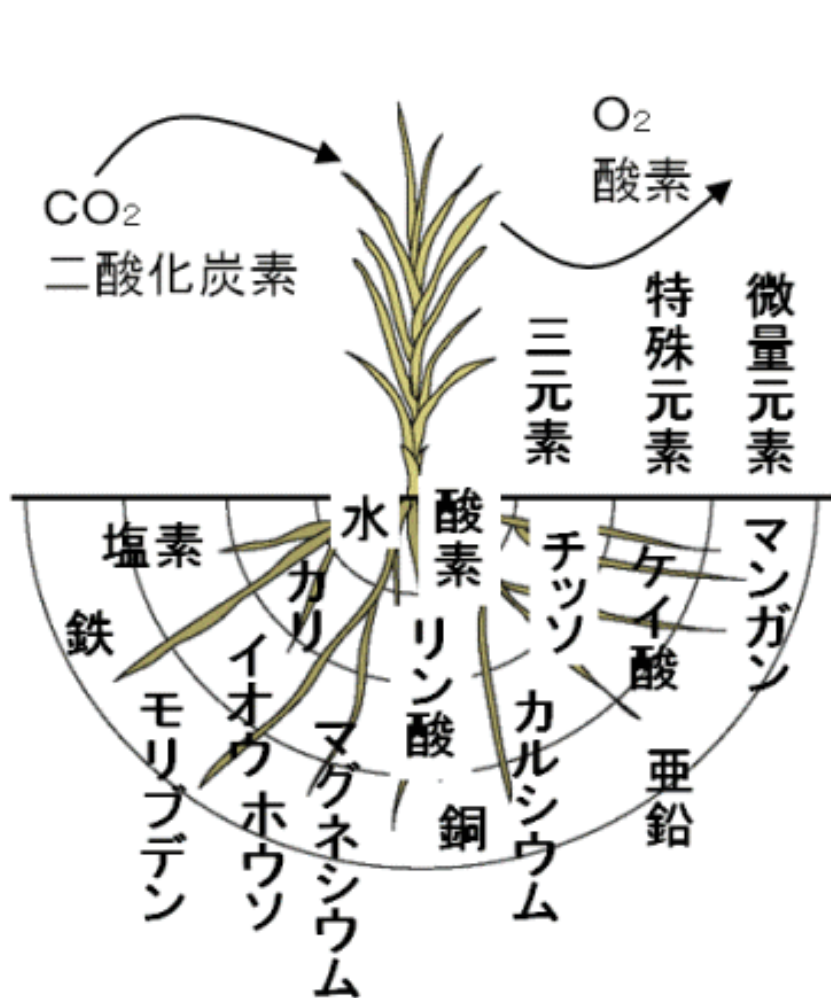
約6.7リットルの重油を使い、約467円かかります

(条件:自家処理容器内で好気発酵させメタンガスを出さないこと)

自家処理すれば…CO₂排出量は **1 / 114**

[参照;標準生ごみ(含水量80%)1トンからのCO₂排出量(生ごみリサイクル全国ネットワーク 2011.09.15)]

生ごみは多様なミネラルを豊富に持つ貴重な資源



- リン、鉄、カリウム
マンガン、亜鉛
カルシウム、銅
マグネシウム
ホウ素、モリブデン
イオウ、塩素
ナトリウム、ケイ酸

COP21(国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)

パリ協定の特徴

◎世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して2度未満に抑えることが掲げられ、特に気候変動に脆弱な国々への配慮から、1.5度以内に抑えることの必要性に言及。

◎そのための長期目標として、今世紀後半に、世界全体の温室効果ガス排出量を、生態系が吸収できる範囲に収めるという目標が掲げられたこと。これは、**人間活動による温室効果ガスの排出量を実質的にはゼロにしていく。**



生ごみは燃やすべきではない！

[参照;パリ会議(COP21/CMP11)の結果と評価]2015年12月25日/気候ネットワーク]